

# NEWS

Vol. 30

## CONTENTS

- 2 『最終同意面談』ガイドンス
- 6 あなたの善意が患者さんに届くまで
- 8 日本骨髓バンクの現状／提供者のアンケート結果
- 10 トピックス  
ACキャンペーン開始  
東武動物公園／開園記念日チャリティー  
海外の骨髓バンクとの国際協力  
スポーツ界から骨髓バンクへの支援が相次ぐ  
白血病が題材の演劇・ミュージカルが続々上演
- 12 お知らせ  
藤川球児投手サイン入りグッズプレゼント  
募金のお礼とお願い

日本骨髓  
バンク  
の  
現  
状  
(平成19年5月末現在)

登録者数  
**28**  
万1,199人

移植数  
**8,367**  
例

●発行 平成19年(2007)7月4日  
財団法人骨髓移植推進財団  
●発行責任者 正岡 徹(理事長)  
●編集責任者 平井 全(常務理事)

〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7F  
Tel 03-5280-8111 / Fax 03-5280-0101

## INTERVIEW



スーパーバンドの2人(右:ゴッチ、左:ドラ)と記念撮影

「困っている人の力になりたい！」  
 そんな思いから骨髓バンクに登録しました

阪神タイガースの名ストッパーである藤川球児投手が、先日ドナー登録しました。今後、骨髓バンクの公認ソング「笑顔のゆくえ」を歌うスーパーバンドと共に、多くの病気を抱える人々にエールを送ろうと真剣な思いを語っていただきました。

同じ高知県出身で野球をやっている青年が、血液の病気でドナーを捜していることがきっかけとなり、骨髓バンクに協力したいと思うようになりました。

一人一人が協力すれば、それが大きな力となり、助けになることができると思います。骨髓バンクを応援したいという気持ちがありましたので、自分もドナー登録しようと思いました。僕のブログでも骨髓バンクの紹介をして、少しずつでも広めていくなど、自分にできることはどんどんやっていきたいですね。



スーパーバンドとは、

チームメイトである安藤優也投手のテーマソングを歌っていたことがきっかけで知り合いました。スーパーバンドも同じ高知県出身ということもあり、一緒に骨髓バンクを支援していこうと意気投合しました。

僕が骨髓バンクに登録したことから、元気になった患者さんが甲子園球場の始球式で投げられることになりました。患者さんに喜んでもらえることはもちろんですが、それを見ている観客の方々にも何か感じてもらえたらいいですね。

病気と闘っている患者さんの、微力ですが少しでも支えになりたいです。今後、病院なども訪問し、患者さんを勇気付けることができたいと思っています。

### 阪神タイガース 藤川 球児投手

昭和55年7月21日生まれ。高知県出身。身長184cm。  
 高知商業高校では2年の夏に甲子園に出場し、平成10年にドラフト1位で阪神タイガースに入団。年間80試合登板達成や、平成18年は35試合連続無失点記録等の日本新記録を次々と樹立。球界随一の豪快なストレートを武器に、今や押しも押されぬセムストッパーへと成長。

藤川投手のインタビューはドナーズネットに掲載しております。

詳しくは下記URLをご覧ください

<http://www.donorsnet.jp/>

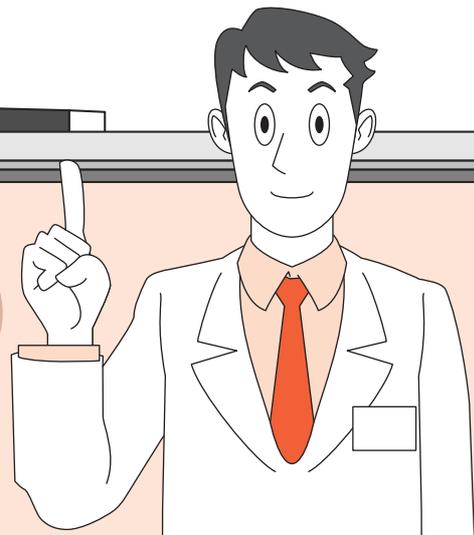
特集1

よくわかる

# 『最終同意面談』 ガイドランス

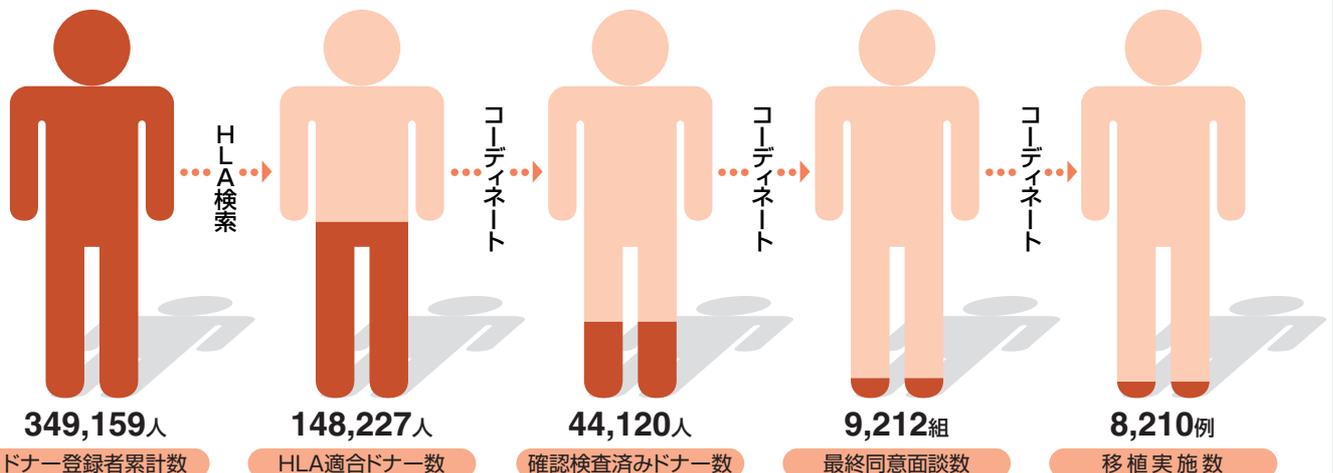
最終同意は、とても大切な約束です。最終同意面談とは、ドナーに選ばれた後に、コーディネーターと医師が、立会人同席のもとドナー候補者とご家族の最終的な提供意思を確認することです。最終同意の後に、提供意思を撤回すると患者さんの命に関わるため、ご家族とよく話し合ってください。また、ドナーご自身の同意だけでは、骨髄提供はできません。ドナーのご家族のご理解と同意が必要です。この特集をご家族の方と一緒に読んでいただき、骨髄提供のご理解を深めてください。

ドナー登録者の累計は、  
約35万人(平成19年3月末)となり、  
その中で最終同意に進んだドナーは約2.6%、  
実際に骨髄を提供したドナーは、  
全体の約2.4%となっています。



## ドナーのコーディネート状況

(平成4年から平成19年3月までの累計数)



知っておきたい

# 『最終同意』の流れ

患者さんと適合し、確認検査を受けてから最終的にドナーに選ばれると、最終同意面談を行います。

適合 → 確認検査 → 最終同意 → 骨髄提供

Step

2

コーディネーターは、ドナーやご家族に骨髄提供について最終的な説明を行い、医師は医学的な立場からの専門的な説明を行います ※コーディネーターが医学的な説明をすることがあります。



Step

3

立会人は、ドナーとご家族が十分に理解しているか、提供が自由意思によるものかを確認します



Step

1

ドナー、ご家族、第三者の立会人、コーディネーターと調整医師で面談します



Step

4

ドナーとご家族は、説明を十分に理解し、提供意思があれば「最終同意書」へ署名と捺印をします



## 最終同意前には…

ご家族ともう一度よく話し合ってください



START

## コーディネーターからの一言

コーディネーターが開始され、ドナーと初めて話をする時に「ご家族の同意について伺います。ドナーには確認検査時に骨髄提供について説明をしますが、ご家族の方には最終同意面談時に初めて説明を聞いていただくケースがほとんどです。無理に同意は求めませんし、その場で結論が出ない場合には再面談をします。最終同意面談までにご家族の理解、同意が得られていればコーディネーターがスムーズに進みますので、骨髄提供についてご家族や身近な方とは是非話をしてください。ドナーをはじめご家族や皆さんに少しでも納得のいくコーディネーターになればいいと思っています。



高徳 発代さん

ドナーのコーディネーターでは、お越しいただく病院や面接等の日程調整で無理なお願いをする場合が多いので、出来る限りドナーの力になりたいと思っています。分からないことや不安に思う点など、何でも言うてくださって構いません。



野手 明美さん

私は、ドナーと患者さんの橋渡しとなっている現場に立ち会えるこの仕事が大好きです。ドナーが言葉に出さなくても、雰囲気や微妙な表情から感情を読み取って、フォローできればと思います。最終同意面談では、同意を確認できると安心しますが、同意を確認できない場合でも残念だと感じたことはありません。どちらの選択であっても、そのご家族にとってベストの決断を導くことに協力できて、よかったですと思います。コーディネーターとドナーの関係は、体調が回復されたら終わってしましますが、ドナーとご家族との関係はその後ずっと続くものです。ドナーが骨髄提供した後、ご家族に後悔が残ることだけは避けたいですね。ドナーには、「自分一人で決めないで、ご家族でよく話し合ってください」と言っています。

# 『最終同意面談』レポート

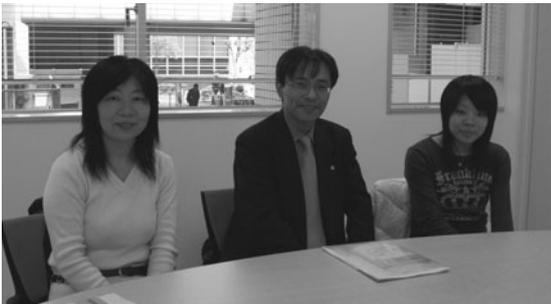
骨髄提供については、テレビで患者さんのドキュメンタリーを見たり、インターネットで調べて知識はありましたが、初めは具体的にどのようなことをするか分かりませんでした。最終同意面談に来て、リスクや提供についての十分な説明を聞いてよかったです。また、弁護士や医師が同席したことで、安心しました。妻が入院中は、独りで3人の子供の世話をしながら、仕事を両立させることとなりますが、何とかなるでしょう。自分が提供するわけではないのですが、妻をサポートすることが、待っている患者さんを応援することになると思います。(夫の英哉さん)



〈写真左〉夫の英哉さん

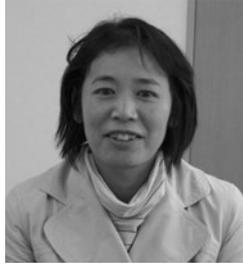
検査が何回かあったので、今回はさすがに適合するとは思ってませんでした。本当に納得がいくまで説明してくれることから、万全の体制で採取に臨むと感じて、不安な点はなく、逆に安心しています。最終同意面談に同席し、患者さんの気持ちを考えると、できる限り協力ができればと思います。前は夫の身体が大丈夫か不安でしたが、今回改めて医師の話聞いて、患者さんが待っていることが伝わってきました。ある程度のことわかっていたので、患者さんのことを考える余裕がありました。(妻の恵子さん)

高校が春休みだったので、同席しました。今回話を聞いて、お父さん大変なことをするんだと思いました。人を助けられるなら、18歳になったら私もドナー登録したいです。(次女の加那子さん)



〈写真右〉次女の加那子さん、〈写真左〉妻の恵子さん

## report 1



根津 幸子さん(東京都在住)

5歳、3歳、1歳の3人の子供がいるお母さんです。看護師さんで、家事と仕事を両立させています。

「待っている患者さんがいて、本当に自分が提供するんだ」という実感がわいてきました。サインをした時は、「辞めます」とは言えなくなったので後戻りできないと思いました。

確認検査が、最終同意面談の3カ月前でしたが、育児に追われて忙しかったので、待ったという感覚はなかったです。また、患者さんが移植を急ぐことから、迅速コースになり、入院の日程も決まっています。入院に向けて仕事と家庭内の調整をこれからします。家族が子供の世話をしてくれるなど協力的なので、安心していきます。もちろんけがや病気など健康面でも気を付けないといけないと思います。

## report 2



坂寄 靖之さん(千葉県在住)

4年前に骨髄提供をし、今回で2回目の提供です。デイサービスセンターの施設長をしています。

以前提供していたので、家族は大体のことは理解していましたが、相談したら快く賛成してくれました。自分の中では前回の経験があり、シミュレーションできるので前より不安ではないです。前回は、偶然にも血液の病気の患者さんと同じ病室で、患者さんが苦しんでいる生の声を聞き、提供できることへの使命感・義務感を感じました。2回も提供できることは、まるで神様が与えてくれた使命ではないかとも感じます。妻、子供、同じ職場の人も、言葉には出さないが、いろいろな思いがあるでしょう。しかし、周りの人の協力がなくてできないと思います。また、最終同意面談後では責任が出てくるので緊張します。自分だけの体ではないから、車の運転を控えたり、健康には気をつけなくてはいけないと実感します。



## 調・整・医・師・の・声

### 虎の門病院 血液科 増岡 和宏先生

ご家族の方には、よくリスクのことについて質問されます。医師の立場からも「患者さんが待っているので、協力して欲しい」と採取を勧めることはできません。実際あったことを客観的に説明し、自分の主観が入らないようにしています。また、ドナーに健康上の問題があれば、患者さんとドナーの両方のリスクが多くなり、ドナーに何かあった医療施設は、認定取消・保留となることがあるので、慎重になります。

医療行為は、100%安全と言い切れません。家族の方とよく話し合っ、慎重な立場で臨んでください。

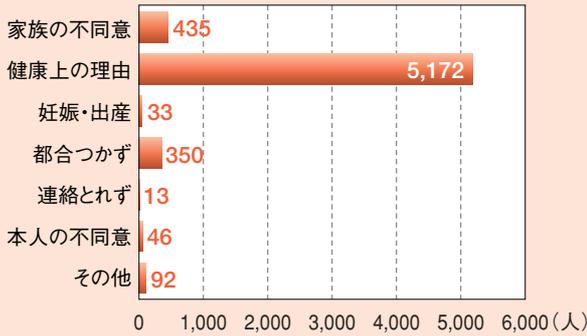
### 鶴川サナトリウム病院 院長 日野 研一郎先生

ご家族からはリスクについての質問が多いです。財団のご説明書に沿って、客観的に説明します。全身麻酔下で多くの手術が安全に行われている現状を具体的に話しますが、今までドナーに起きた全ての障害を挙げ、リスクはゼロではないとも言います。ボールペンの芯ほどある大きさの、骨髄液を採取するための針を見せることもあります。また、医学用語を使わず、分かりやすく説明することを心がけています。最終同意では、不安に思う方には再度説明しますし、気持ちに揺らぎがあれば「No」と言えます。ドナーにはよく考えた上で、同意書にサインをしていただきたいです。

## コーディネートの終了理由 (ドナー側の理由)

確認検査実施～最終同意面談実施

平成13年1月1日～平成19年3月31日



骨髄提供は、あくまでドナーの自由意思によるものです。最終同意書に署名・捺印する前であれば、提供を辞退することが出来ます。また、提供にはドナーのご家族の同意が不可欠です。最終同意が確認できると、患者さんは間違いなく骨髄提供が受けられるという前提で、骨髄移植の2週間程前から準備をします。抗がん剤の投与や放射線の照射を受け、命がけの治療に取り組むこととなります。

最終同意面談後にドナーが意思を撤回すると、患者さんが移植を受けられず致命的な状況に陥ってしまう場合があります。最終同意には、大切な意味があることをご理解ください。

まず骨髄バンクに登録していることを、ご家族に伝えてください

コーディネートを減らすため、ご協力をお願いいたします。



### ご家族の同意が必要な理由

- 提供直前にご家族の強い反対で、提供意思が翻った場合、患者さんが致命的な状態に陥ってしまう可能性があります。
- もし、ご家族の反対を振り切って骨髄提供しても、その後の家族関係にしこりが残る場合があります。
- ご家族の意見を、ドナー候補者に反映させることで意思決定を慎重にさせる意味がある。
- 病院では麻酔や手術を行う際、ご家族の署名・捺印を必要とする場合があります。

## ドナー・ご家族の方へ

- ・骨髄提供には、通常3泊4日の入院をします。退院後の社会復帰に向けドナーを守るため、ご家族の協力やサポートが必要です。
- ・適合後、ドナーには担当のコーディネーターが付きますが、ご家族に説明するのはドナー本人です。ご家族の方にもご理解をいただくよう、よく話し合ってください。



疑問や不安に思う点がありましたら、ご連絡ください。

(財) 骨髄移植推進財団  
0120-445-445

## 最終同意面談 なんでも

- Q** 家族は、どの範囲までなの？
- A** 原則として、未婚の方はご両親のどちらか、既婚の方は配偶者の同意が必要で、該当するご家族がいない場合は、ドナーにとって影響力のある親族が家族の代表として、最終同意面談に出席することができます。
- Q** 同席する家族がいない場合はどうするの？
- A** 同席者がいない場合や、やむをえない事情があるときは、コーディネーター開始後、コーディネーターにご相談ください。
- Q** 最終同意面談後に意思を撤回した場合、患者さんはどうなるのか？
- A** ドナーの同意書への署名をもって、患者さんは移植に備え、自分の血液をつくる機能を失います。この段階での意思撤回は、致命的な状態に陥ってしまう場合があります。
- Q** 家族が遠方に住んでいる場合はどうするの？
- A** 遠方に住んでいる場合は、方法は3つあります。  
①ドナーがご両親の元に行き、一緒に面談をする  
②ご両親にドナーの元に来てもらい、一緒に面談をする  
③ドナー、ご両親別々で面談をする

# あなたの善意が 患者さんに届くまで

採取された骨髄液——これは患者さんの命を救う、ドナーさんからの大切な贈り物です。採取後、骨髄液はその日のうちに患者さんの元へ届けられますが、それぞれの病院が遠く離れている場合は、運搬に何時間もかかってしまうことがあります。骨髄液運搬は患者さんが入院している移植病院の担当者が行います。安全に速やかに確実に運搬するためには、たくさんの方々の方々の協力が必要です。

## ケース1

運搬を担当するのは、移植担当医の萩原将太郎先生。昨日の夜まで病院業務があったため、朝一番の飛行機に乗り込む



空港に向かうバスの本数が少ないので、タクシーを使う



骨髄液は手術用滅菌シートに包まれ、常温で運ばれる

病院出発

受け渡し

出発

## ケース2

運搬を担当するのは、大澤有紀子さん。前日、採取病院近くに宿泊。交通費も患者負担となるため、病院まで徒歩圏内のホテルを選ぶ



病院を出てから、タクシー・電車を乗り継いで空港に向かう

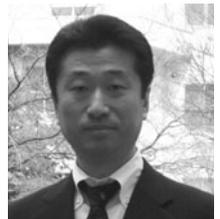


採取病院の医師から骨髄液が手渡される

### Point!

運搬時は常温のことが多い  
骨髄液は温度が高すぎても、低すぎても生きています細胞が少なくなってしまう

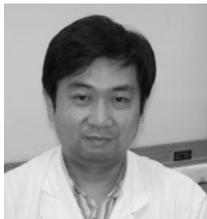
## 移植医の立場から



国立国際医療センター  
血液内科  
萩原 将太郎先生

骨髄液運搬では、手に持った骨髄液に衝撃を与えないように、人ごみは避けています。航空機利用が多いですから、最初、

もしくは最後に搭乗します。電車が混んでいる時間帯は、人ごみがたがえすので、とても気を使います。骨髄液は採取してから、患者さんの体内に入れるまで時間が経ってしまうので、その間に生きています細胞が減ってしまうので、できるだけ早い方がいいですね。24時間以内というのは、ぎりぎりの数字で、可能であればその場で患者さんに移植したいぐらいです。いままでも担当した患者さんにも、移植後に社会復帰をされている方が大勢いらっしゃいます。私もドナー登録をしていますが、まだ提供するチャンスには巡りあえていません。大切なすばらしい経験になると思いますので、可能な限り、ご協力をお願いしたいと思います。



防衛医科大学校病院  
血液内科  
木村 文彦先生

運搬にはかなり気を遣います。担当するスタッフはとも緊張しますが、患者さんの喜ぶ顔を見ることができて、

その苦労は感じないようです。運搬中は骨髄液のバッグを破損してしまつていけないように、慎重に取り扱います。幸いなことに、いままでもそういったケースに遭遇したことはありません。

患者さんには、ドナーさんがどのようにして提供するのかはお伝えしているので、とても感謝しておられます。患者さんは治りたいという強い望みで骨髄液を待っています。もし、ドナーさんが提供を決心していただければ、こんなうれしいことはありません。その一方で我々も骨髄採取を行っていますから、ボランティアとはいえず、ドナーさんにはリスクがあることも十分承知しています。それを考えると、是非ともお願いしますと簡単には言えないのが正直なところです。



ドナーと患者の血液型が違うので、骨髄液から赤血球や血漿を除く処理をする



15時ごろ、病院到着。移植前の準備があるので、臨床検査部に



モノレールで移動。その後、地下鉄を乗り継いで病院まで



乗客との衝突を避けるため優先搭乗する

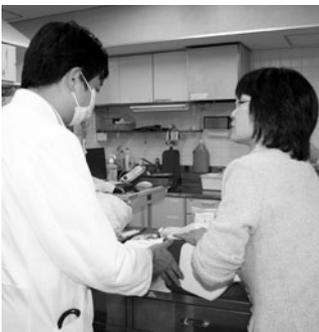
患者さんの元へ…

移植準備

病院到着

電車移動

飛行機  
搭乗



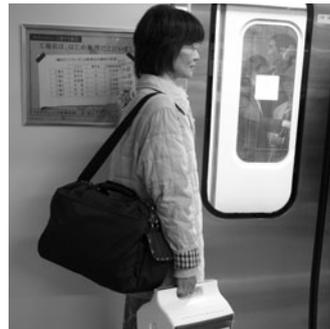
ドナーと患者の血液型が一致していると、そのまま何もせずに移植される



18時ごろ、病院到着。すでに陽が落ちて、辺りは真っ暗

Point!

採取病院と移植病院がかなり離れているときは、移動時間の都合上、採取を朝早い時間帯に設定していることもある



モノレール、JR、私鉄で移動。夕方方の帰宅ラッシュに遭遇

Point!

今回のように東京都内の病院では、道路が渋滞している可能性があるため、時間が確実な公共交通機関を利用  
電車が混雑する時間帯は慎重に移動を行う



飛行中は、ひざの上に運搬ボックスを抱える



献血については、  
日本赤十字社のホームページをご覧ください  
<http://www.jrc.or.jp/>

※現在コーディネート進行中の方はコーディネート終了まで(骨髄提供された方は提供後6ヶ月間)献血はお控えください。

ては風邪などで体調を崩す方が多いことや学校、企業団体などの協力が得られにくくなることから献血者が少なくなる傾向にあります。  
ドナー登録者の皆さまは、健康な方が大多数なので、ぜひ日常的に献血への協力をお願いいたします。

人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、まだ人工的に造ることはできません。さらに、血液は生きた細胞であるため長い期間にわたって保存することができません。  
輸血用血液は、すべて国内の献血でまかなわれていますが、近年は献血者が減少し献血確保が難しい状況です。特に冬場から春先にかけては風邪などで体調を崩す方が多いことや学校、企業団体などの協力が得られにくくなることから献血者が少なくなる傾向にあります。

血液の病気で治療を受けている人にとって、輸血は骨髄移植と同じく生きるために重要な治療法のひとつです。造血幹細胞移植を受ける受け手に関わらず、赤血球と血小板の輸血が大量に必要となります。日本赤十字社で確保している輸血用血液の約半分が血液の病気の患者さんに使われています。

献血にご協力  
ください。

# 日本骨髄バンクの現状

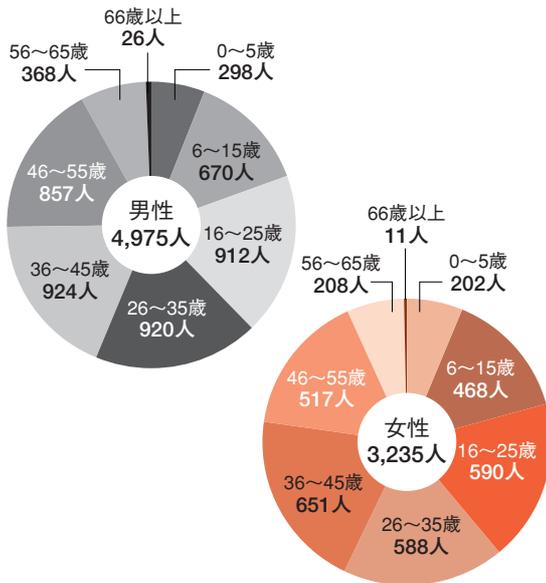
平成19年3月末現在

## 非血縁者間骨髄移植の状況

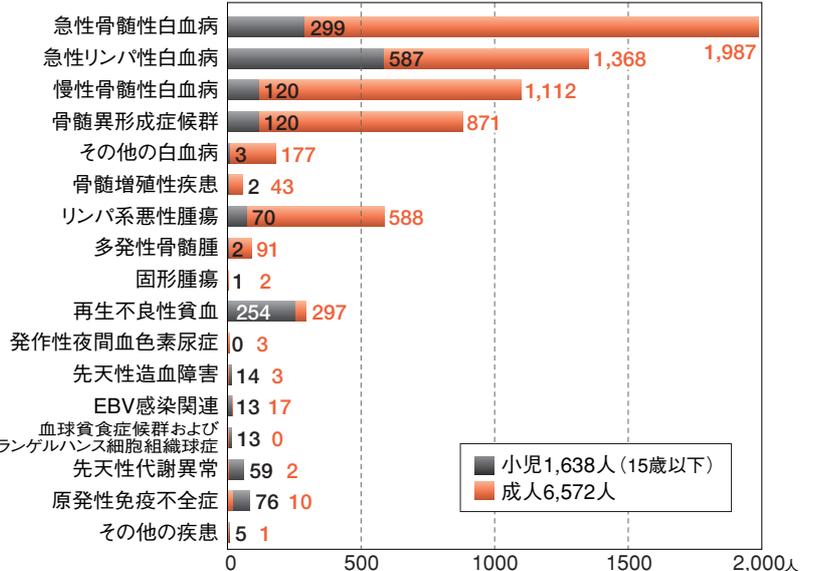
移植患者の状況

8,210件

年齢・男女



疾患

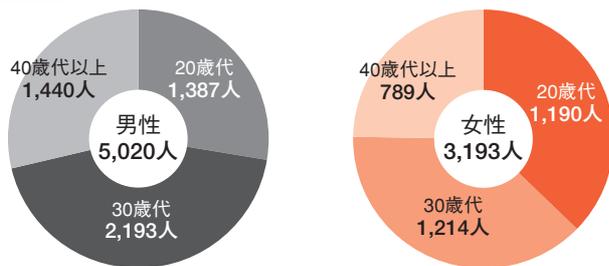


\*採取されたものの、移植に至らなかった例採取総数は患者総数より「3」多くなっています。

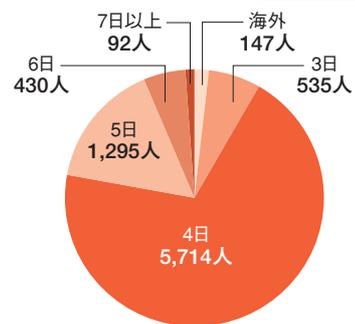
提供者の状況

8,213件

年齢・男女

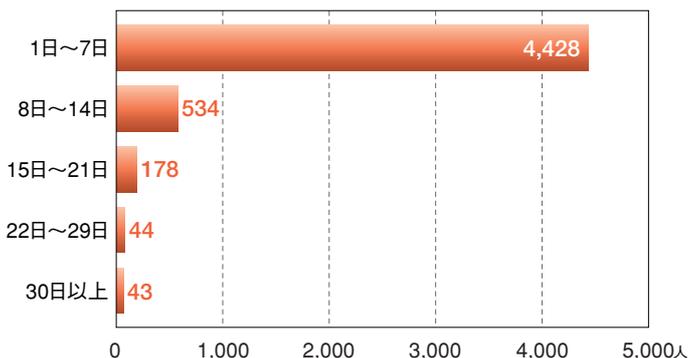


入院日数



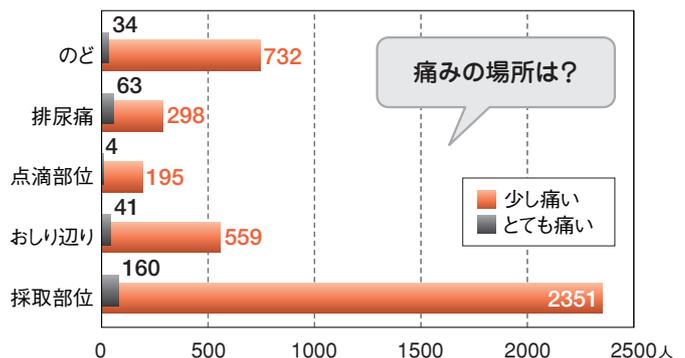
## 日常生活復帰に要した日数

(平成5年1月~平成18年12月末までの集計データ)



## 退院時アンケート

(平成15年2月~平成18年12月末までの集計データ)

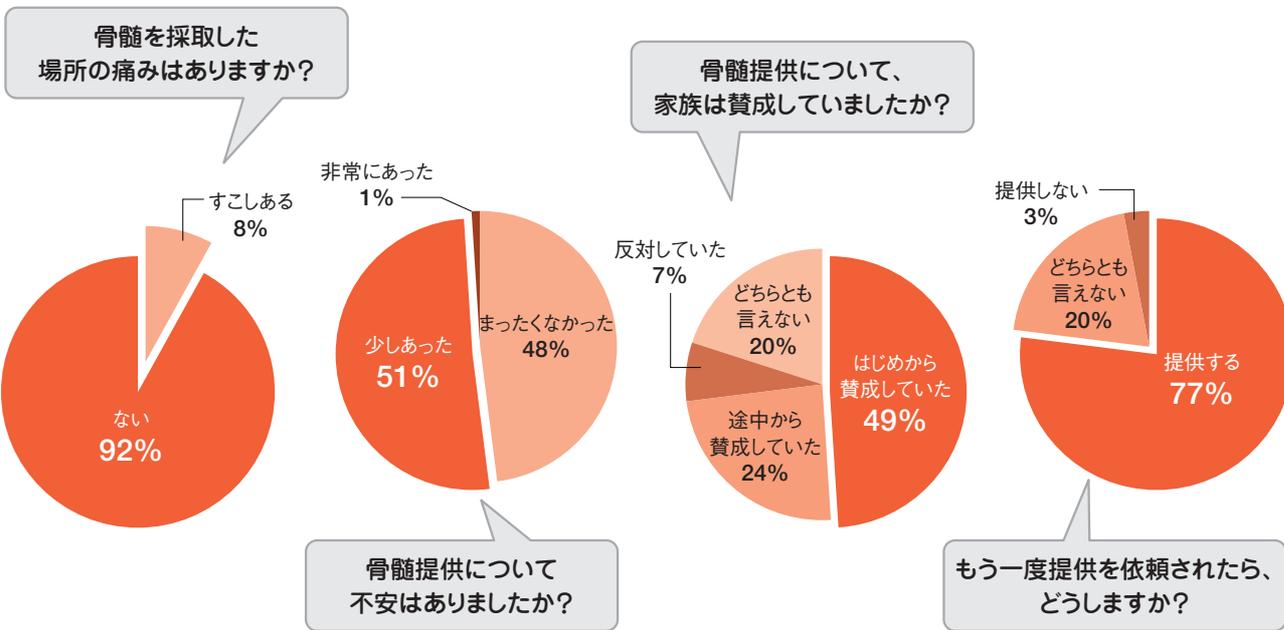


各種の統計につきましては、ホームページで公開しています。  
[http://www.jmdp.or.jp/about\\_us/genkyou/index.html](http://www.jmdp.or.jp/about_us/genkyou/index.html)

## 骨髄提供ドナー3ヶ月アンケート

回答数  
5,710件

(平成5年1月～平成18年12月末までの集計データ)



**Dr.M 診療所**

私、ドクターMが骨髄バンクによくお問い合わせがくる健康相談にお答えします

**1** 高血圧はいろいろな病気の原因になりますよ

**2** 血圧がちょっと高いですね～

**3** 動脈硬化

高血圧は体からの黄色信号!

血管の破綻

**4** きちんとした生活習慣を身につければ、予防できます

ストレス

塩分

疲労

肥満

※ 骨髄バンクの血圧の基準は、上(収縮期圧)は90mmHg以上150mmHg以下、下(拡張期圧)は100mmHg以下です。

【おわび】第29号9ページの3ヶ月アンケートグラフ「骨髄提供について不安はありましたか?」の数値に誤りがありました。まったくなかった(誤)1%→(正)48%、少しあった(誤)47%→(正)52%、非常にあった(誤)52%→(正)1%



### 公共広告機構（AC）による骨髄バンクのキャンペーン開始 ドナー登録年齢を題材にした「ドナーリレー」編

公共広告機構（AC）による骨髄バンクの新しいキャンペーンが始まり、様々なメディアでの広告展開がスタートしました。今回のテーマは「世代から世代へ。命をつなぐドナー登録リレー」です。卒業式を思わせる会場が映し出され、大勢の出席者が見守る中でドナーを卒業する父親からドナーを受け継いだ18歳の娘にバトンが手渡されるという内容になっています。大切なのは、ドナーの数を絶やささないこと、増やすことを訴え、血液の病気と闘う多くの人たちのために、ドナー登録を呼びかけます。前回反響の大きかった本田美奈子.さんに代わり、7月よりテレビ・ラジオCM、交通機関でのポスター掲示が開始されます。



撮影には実際の体育館を使用

## News

### 東武動物公園／開園記念日チャリティーで骨髄バンクを支援

3月28日、29日、東武動物公園（埼玉県）において「開園記念チャリティー」として骨髄バンクへの支援が行われました。当日は開園記念日を祝して入園無料。朝から大勢の方が詰めかけ、入場ゲートで入園者に向けたチャリティー募金の呼びかけが行われました。園内には骨髄バンクのポスターが各所に貼られ、案内放送では骨髄バンクのCMが終日流されるなど、チャリティーにご協力いただきました。さらに人気の動物パレードでも募金活動が行われ、飼育係の方や動物たちもタスキを付けてパレードし、骨髄バンク一色の2日間となりました。2日間の入園者数は約3万4000名で、たくさんの方にご寄付をいただきました。4月6日には東武動物公園において寄付金贈呈式が行われ、財団からは東武動物公園へ感謝状が贈呈されました。



動物パレードの様子

### 海外の骨髄バンクとの国際協力

日本骨髄バンクが国際提携している台湾骨髄バンクは、慈済基金会によって設立されました。台湾骨髄バンクのドナー登録者は、約26万8千人にもなり、人口規模からみたドナー登録者数は、世界の骨髄バンクの中でトップクラスです。

6月10日に慈済基金会日本支部で、資料展示、演奏、フリーマーケット等のイベントが行われました。今回から初めて献血とドナー登録会が行われ、慈済基金会の皆さまのご協力のもと、ドナー登録者は19名となりました。今後も日本骨髄バンクは、海外の骨髄バンクと連携を強め、国際協力を進めていきます。



会場のフリーマーケットの様子

Support 

## スポーツ界から骨髄バンクへの支援が相次ぐ

## ■Vリーグ

## 「2006/07V・プレミアムリーグ」ファイナルラウンドで骨髄バンク支援

今年1月から全国の試合会場で、骨髄バンクのPRを展開していただきました。4月14日、15日には「2006/07V・プレミアムリーグ」ファイナルラウンド（優勝決定戦・3位決定戦）がさいたまスーパーアリーナで行われ、たくさんの方にお越しいただきました。

会場内では各チームがファンブースを設ける中、骨髄バンクのブースも設置され、様々な骨髄バンク支援が行われました。ドナー登録会をはじめ、堺ブレイザーズ監督・中垣内祐一さん、大林素子さんと元患者さんによるトークショーや、骨髄バンク支援ソングとVリーグテーマソングを歌うスーパーバンドのライブも行われました。また、各チームの選手にも、募金活動やチラシ配布にご協力いた

だきました。さらに、チャリティーオークションでは、多くの人気選手からグッズを提供していただき、収益金を寄付していただきました。



骨髄バンクブースで選手が募金活動

## ■読売巨人軍

## 選手14名が小学生と「命のアサガオ」の種まき

骨髄バンクへ多大な支援をしていただいている読売巨人軍ですが、今年も様々な支援が行われています。2月の公式戦開幕前の宮崎キャンプでは、ドナー登録会の他に、ドナー登録を呼びかけるリーフレット等を配布しました。開幕後は東京ドームで開催されるホームゲーム試合時（一部地方遠征試合）に、「ジャビットシール」と骨髄バンクのリーフレットを来場者に配布しています。配布は9月末まで実施予定です。

また、5月14日に読売巨人軍の選手14名が、東京ドームのある文京区の小学校を訪問し、子供たちと一緒に「命のアサガオ」(\*)の種まきを行ないました。読売巨人軍では昨年より選手と児童と一緒に給食を食べながらふれあう「選手とスクールランチ」を実施していますが、今年はスクールランチと一緒に“命の尊さ”を選手から児童に伝えてもらうことをテーマとした「命のアサガオ」の種まきが行われました。さらに、7月13日～15日は「骨髄バンクデー」

として「命のアサガオ」の種まきで訪問した小学校の子供たちを東京ドームに招待し、子供たちが育てた命のアサガオが東京ドームに飾られます。

(\*) 白血病の闘病の末、7歳で亡くなった新潟在住の少年が生前に育てていたアサガオ。その種が受け継がれ、毎年花を咲かせています。



小学生と一緒に種まきをする上原浩治投手と真田裕貴投手

 Events

## 白血病が題材の演劇・ミュージカルが続々上演

白血病をテーマにした演劇やミュージカルがいくつも上演され、骨髄バンクに貢献していただいています。

5月には「・・・もう一人の君に!～夏子～」(劇団往来/新宿・パークタワーホール)が上演されました。患者さんの立場とドナーさんの立場、それぞれの視点から骨髄バンクへの関わりが描かれた同作品は昨年6月に大阪で初演され、大きな反響を呼び、東京公演も好評のうちに終了しました。財団では両公演の期間中に、ホールロビーにてパネル展示や募金活動などの骨髄バンクPRを行い、多くの観客から高い関心とともに寄付を寄せていただきました。

今後の予定では、昨年ミュージカルとして新しくなった「Friendship (友情) (劇団絵生)が博品館劇場(東京・銀座)にて9月25日(火)から30日(日)までの期間上演されます。白血病と闘う少女をクラスメイト全員が励ますストーリーです。また1994年の初演以来毎年上演されている骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」(学校法人滋慶学園グループ)が10月、11月に東京、大阪、福岡で巡演予定です。

そして10月、11月に「ホセ・カレーラスとベルエポック」が、東京・金沢・大阪で実施される予定です。



## クイズに答えて賞品をGET!!

Present

## Q.今号の特集は、よくわかる『○○同意面談』ガイドンス

○の中に入る文字を当ててください。



藤川球児投手 (阪神タイガース)  
サイン入りグッズ

- A賞 硬式ボール…………… 5名様
- B賞 スポーツタオル…………… 5名様
- C賞 色紙…………… 10名様

応募締切 平成19年 8月 6日(月)まで

応募方法

【PC】<http://www.donorsnet.jp/news30/>  
にアクセスし、必要事項を記入の上、お申し込みください。

【携帯】送先先のメールアドレスに [present@donorsnet.jp](mailto:present@donorsnet.jp) を入力し、  
件名を「プレゼント応募」として必要事項(①クイズの答え ②郵便番号  
③住所 ④電話番号 ⑤名前 ⑥年齢 ⑦A賞・B賞・C賞どちらを希望するか  
⑧ご意見・ご感想)を明記の上、送信してください。

※当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

donorsnet

(PC・モバイル共通)

<http://www.donorsnet.jp/>

バナーがデザイン、サイズともに豊富になり、骨髄提供した方のインタビューや骨髄バンクに関するQ&Aなどドナー登録者向けのコンテンツも充実しています。  
是非一度ご覧ください。

モバイルサイトはこちら→  
バーコード対応携帯でしたら右の  
バーコードを読みとるだけでURLが  
表示されます。



メールマガジン申し込み

< 骨髄バンクの情報をいち早くお届けします! >

PCから <http://www.donorsnet.jp/m3/mailmag.html>  
にアクセスし、必要事項を記入の上、お申し込みください。

携帯から 送先先のメールアドレスに「mag@donorsnet.jp」を入力して、題  
名も本文も何も入力せずに、そのまま送信ボタンを押してください。  
その後、返信メールが届きますので、メールに記載されたアドレス  
にアクセスしてください。

## コーディネーター養成研修会受講者募集のお知らせ

(財) 骨髄移植推進財団では、コーディネーター養成研修会の  
受講者を募集します。本研修会受講後、適性が認められた方  
をコーディネーターとして認定、委嘱します。

詳細は当財団ホームページ(<http://www.jmdp.or.jp>)に掲載中

### ■募集地域

- ・北海道地区(道東、旭川) ・東北地区(青森・秋田・福島・山形の各県)
- ・関東地区(東京都、栃木・群馬・新潟・長野の各県)
- ・中部地区(愛知・岐阜・石川の各県)
- ・近畿地区(大阪府、京都府、滋賀・和歌山の各県)
- ・中四国地区(岡山・広島各県)
- ・九州地区(福岡・長崎・大分・鹿児島・沖縄の各県)

### ■応募資格

25歳から55歳までの、財団の使命を理解し、コーディネーター業務を最優先できる方。

### ■研修期間

平成19年8月下旬～12月末(東京で集合研修、各地区での実地研修等)

### ■応募方法

履歴書(写真貼付)、職務経歴書、受講動機(400字原稿用紙1枚)を下記までお  
送りください。

### ■応募締切 7月31日(火) 必着

### ■応募先

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目19番地 TEL 03-5280-8233  
(財) 骨髄移植推進財団「コーディネーター養成研修会」係

## 募金のお礼とお願い

骨髄バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金と皆さまからの寄付によって支えられています。

## 皆さまの善意をお寄せください



### 1. 郵便振替

郵便振込用紙で、最寄りの郵便局からお振込みをお願いします。手数料は当財  
団負担となります。



### 2. 銀行振込

① ☎0120-377-465までお電話ください。  
みずほ銀行本支店間での手数料が無料になる専用振込用紙をお送りします。  
② イーバンク銀行  
[http://www.jmdp.or.jp/reg/help\\_us/how\\_to.html](http://www.jmdp.or.jp/reg/help_us/how_to.html)  
24時間入出金が可能なイーバンク銀行をご利用いただけます(手数料無料)。  
なお、事前に口座の開設が必要です。



### 3. クレジットカード募金

① お電話で  
ご使用になるカードをお手元にご用意のうえ、☎0120-377-465まで  
お名前・ご住所・電話番号・カード番号・カードの有効期限・ご寄付の金額をお  
知らせください。  
② インターネットから  
[http://www.jmdp.or.jp/reg/help\\_us/how\\_to.html](http://www.jmdp.or.jp/reg/help_us/how_to.html)  
NTTコミュニケーションズの電子決済サービス「CoDenペイメント」を使用した  
インターネットの決済サービスです。お申し込みいただいた金額をご使用のカー  
ド会社の規約に従って、通常のカードご利用と同様に口座から振り替えさせて  
いただきます。



### 骨髄バンク提携クレジットカードのご案内

クレジットカードによるお支払額の0.5%が骨髄バンクに寄付される骨髄バンクサポーター  
カード。寄付金なしの一般会員と、年会費として毎年3,000円を寄付するサポーター会員、

毎年1万円を寄付する特別会員があります。骨髄バンクカードには、この3種類のNICOS  
カードのほか、各VISA付きカードがあります。  
入会申込書を☎0120-377-465までご請求ください。

お問い合わせ・資料請求は

日本骨髄バンク

☎0120-445-445

<http://www.jmdp.or.jp/>

## 編集後記

今号の最終同意面談の特集で取材したドナ  
ーとご家族の方には、快くインタビューに応じて  
いただき、非常に協力的で和やかな雰囲気でした。ご協力いただき本当にあ  
りがとうございました。次号もドナー登録者の皆さまにとって有益な情報をお  
伝えたいと思っております。皆さまのご意見やご感想、今後取り上げてほし  
い内容等お寄せいただければ幸いです。(夕)

お問い合わせ先 >>> [webmaster@jmdp.or.jp](mailto:webmaster@jmdp.or.jp)